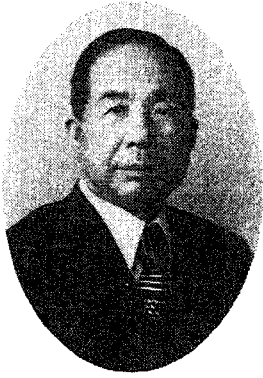


# 産業・文教のまちづくり

## 都留市長 高部 通正



明けましておめでとうございませう。お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

平素の、市政に対するご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。

低成長経済下にあつて、地方公共団体の行政運営につきましては引続ききびしい情勢が予想されますが、住民福祉を推進して豊かな地域社会を実現するため、懸命の努力を払う覚悟を新たにしております。

明るく住みよいまち建設のため都留市がめざすべき都市づくりの理念として、

(一) 市民参加の促進と連帯感の醸成  
(二) 快適なまちの基礎づくり

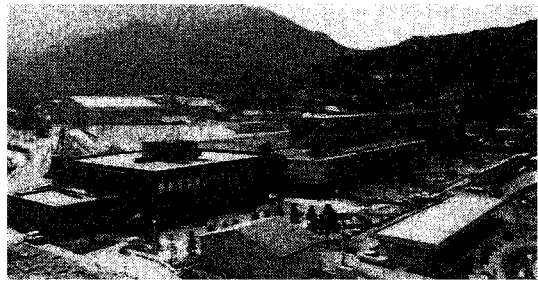
(三) 産業の自立と振興  
(四) 文教都市への躍進

これを掲げ、これを基本姿勢として邁進したいと考えます。これからの市政執行にあつては、この基本姿勢を堅持し、施策をねばり強く推進したいと存じます。昨年四月、市政モニター制度を取入れました。

これは、市民の市政に対する意見、要望をきくことにより、世論の動向を正しく把握し、市政の効果を測定するとともに、市民の市政に対する理解と協力を期待し、市政の公正かつ民主的な運営を図ることをねらいとしております。現在、二〇人の方にお願ひして

ようやく軌道にのつておりますが市政モニターでなくとも、広く皆様から建設的なご意見をお寄せいただければ非常にありがたいと存じます。住みよいまちづくりの施策につきましては、まず都市機能の向上の観点から道路網の整備を進めます。

市街地の交通緩和と商店街振興のための国道バイパスは、第一期工事鍛冶屋坂から宮原までの二キロメートルについては測量も完了し、まもなく着工となります。



▲都留文科大学全景

させ、引続き城山を史跡公園として整備する計画であります。人口の漸増を続ける当市では、昭和六十年代には世帯数は千五百増加する見込です。

小野権現原に、市営住宅二棟七二戸、県営住宅二棟四八戸、分譲宅地二三区画を計画しております。持家取得のための融資制度を拡充するとともに公営住宅を多く建設して、住居対策に万全を期したいと思ひます。

都留市の飲用水はその質において全国に誇るレベルにあり、その料金は全国市町村で三番目に安く、県下では一番安く、全国平均のようになります。

現在、小規模水道の統合改善を進め、「皆市管水道」の実現を期しております。

盛里地区は整備に着手しており、三吉、開地地区の未整備部落についても順次整備してゆきます。

ゴミ処理につきましては、大月都留衛生組合において、新たに焼却場を建設すべく、大月市内に用地を求めておりましたが、適地が見つかりませんので、広域行政の一環として市内に早急に用地を確保して公害のない、むしろ地域に利益をもたらすような優秀な施設を建設したいと考えております。

保健医療の充実施策につきましては、治療から予防へ、さらに自ら進んでの健康づくりへと大きな転換を要する現況にあります。

医療体制の確立を図るため、医

療機関と行政のより密接な連携、夜間休日緊急体制の整備拡大を進めるとともに、市民病院の建設計画を具体化してまいります。

市民病院建設のための財源をできる限り多く積立てておりますが病院建設を早期に実現できるような身の努力を払ひます。

なお、市民病院建設までの間、医療法人都留病院の施設一切を借受けてこれを暫定的に市立病院として開設し、医療の充実に寄与したいと思ひます。

住民福祉の推進施策につきましては、いつも行政の中心課題であると考えます。

市民のあらゆる分野でのボランティア活動の育成を進め、社会福祉協議会をはじめ関係団体と協調し、相互扶助の精神による心の福祉への転換を図り、信頼の輪の広がりととなるよう努力してまいります。

昨年は、市独自の敬老年金の増額、一人ぐらし老人への歳末援護などを実施しましたが、本年は視覚障害者が耳から市政の様子、諸行事、連絡事項などを得られるように、カセットテープによる、いわゆる「声の広報」を作ります。

教育文化の向上施策につきましては、都留市が城下町として発達してきた、県下でも古い歴史を持つまちであり、文教都市をめざすからには最も大きな課題であります。

小学校から大学までの一環した